

1 平成18年度テレビ・ラジオの受信障害申告処理件数

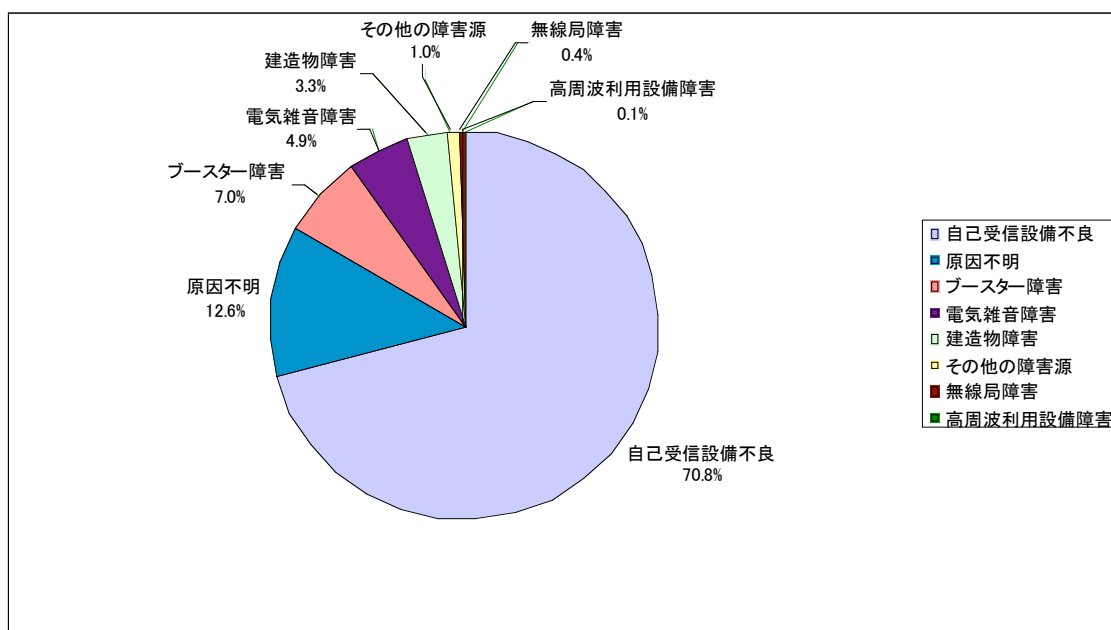
区分	自己受信設備不良 ※	原因不明	ブースター障害	電気雑音障害	建造物障害	その他の障害源	無線局障害	高周波利用設備障害	合計
申告処理件数	4145 (350)	735 (4)	409 (2)	287	196 (3)	57	22 (1)	5	5856 (360)

()は地上デジタル放送の受信障害の再掲

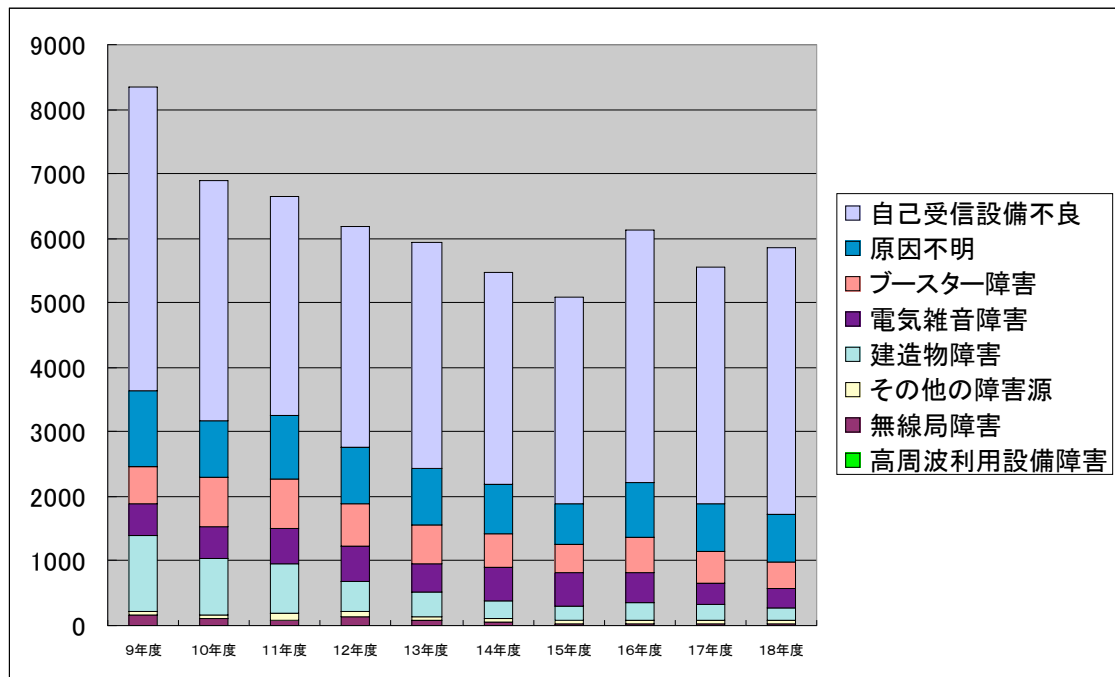
※ アンテナ、アンテナ線、テレビなどの故障や調整不良が原因のもの

相談件数は、5,856件、前年度に比べて304件(5%)増加。

- (1) アンテナ整備不良、給電線接続不良など自己受信設備不良に起因する申告が7割以上を占める(地上デジタル放送では9割を占める)。
- (2) 自己受信設備不良の他、ブースター障害、家電製品などによる電気雑音障害及び建造物による受信障害が依然として多い。
- (3) 地上デジタル放送の開始に伴い、地上デジタル放送のサービスエリアや受信方法などに関する相談が増加傾向。



2 テレビ・ラジオ受信障害申告件数の推移



	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
自己受信設備不良	4706	3721	3380	3417	3481	3271	3175	3900	3656	4145(350)
原因不明	1159	871	999	879	872	761	654	855	752	735(4)
ブースター障害	590	753	768	637	620	527	431	549	484	409(2)
電気雑音障害	495	485	545	569	429	503	507	480	327	287
建造物障害	1158	876	763	465	378	286	236	263	247	196(3)
その他の障害源	74	78	95	65	54	47	44	41	57	57
無線局障害	146	93	82	137	81	54	19	33	28	22(1)
高周波利用設備障害	12	6	7	8	9	9	9	8	1	5
合計	8340	6883	6639	6177	5924	5458	5075	6129	5552	5856

(注) : () は地上デジタル放送関係の再掲